

ジェネリックを 推進しています

ジェネリック医薬品とは？



ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、新薬（先発医薬品）の特許が切れた後に製造販売され、新薬と同じ有効成分を同じ量含み、同じ効能・効果を持つ医薬品です。（効能・効果は新薬が効能追加を行った場合など一部異なることがあります）

POINT

1

有効性・安全性・品質に関して国の厳しい審査に合格し、厚生労働大臣の承認を受けて製造販売されている医薬品です。

POINT

2

様々な病気・症状に対する医薬品が揃い、錠剤・カプセル等剤型も様々。味や大きさが改良されて飲みやすくなっているものもあります。
※ただし、全ての医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。

POINT

3

新薬に比べ開発費が少ないため、低価格で自己負担が少なくなり、長期の服用が必要な場合には経済的です。